

『精神科医からみた外国につながる 青少年のメンタルヘルス』



日本の小児人口の約5.7%に達しており、私たちの身近な存在として急増しています。

20人に1人が「外国にルーツを持つ」子ども



深刻な「アイデンティティの揺らぎ」

異なる文化の狭間で自分の存在を肯定できなくなる、目に見えにくい心理的困難に直面しています。

家庭内で深まるコミュニケーション不全

親子間の使用言語の相違が壁となり、家庭が安心できる場所にならず、不安や抑うつを深める要因となっています。



支援の現場に求められること

専門的知見による「早期発見」



心理的サポートを届けるためには、精神医学的な視点から彼らの心の実態を正しく理解することが喫緊の課題です。

地域・学校・医療の連携



教育関係者から地域ボランティアまで、多角的な視点で具体的な支援のあり方を考える必要があります。

参加者同士で意見交換を行う時間を設けています

講演会 開催概要

日時 2026年3月14日(土) 10:00~12:30

形式 Zoomによるオンライン配信

講師 精神科医 蜂矢百合子先生(四谷ゆいクリニック)
精神科医 阿部裕先生(四谷ゆいクリニック)

参加費 無料・事前申込制 主催: CINGA (国際活動市民中心)
申込後に参加用URLを送信します。



参加申込はこちら↑から
お問い合わせは、
event@cinga.or.jp

このような方
におすすめ



学校関係者



医療・福祉従事者



行政担当者



NPO・
ボランティア



その他関心のある
すべての方